

「夏休み現場見学会」を開催しました！

～八戸港の震災復旧工事現場を見学～

平成24年8月8日(水)、夏休み中の小学生などを対象とした現場見学会を開催し、東日本大震災の津波によって被害を受けた八戸港の復旧工事現場を見学してもらいました。

見学会には、地元の小学生やその保護者など合計32名の方々が参加しました。市長代理で岩藤建設部長よりご挨拶をいただいた後、港湾業務艇「ほくと」で津波の被害が一番大きかった八太郎地区北防波堤の復旧工事の様子などを船の上から見学しました。

見学会に参加した方々からは、

『壊れている防波堤を見て、津波はとても恐ろしいものだった。』

『早く防波堤が直って欲しい。』

『防波堤は私たちを守っている大切なものだとわかった。』

『ニュース等で大きな被害があった事は知っていたが、実際に現地を見て改めて津波の大きさを実感した。大変な作業だとは思いますが、八戸港にとって、とても大切な復旧工事である事を実感した。作業の安全と一日も早い復旧を願っている。』

などの感想が寄せられました。

今回の見学会を通じて、改めて津波の被害の大きさを実感し、また、港の復旧状況を十分に知っていただけたのではないかと思います。



▲船内にて概要説明



▲北防波堤見学



▲コンテナターミナル見学



▲記念撮影

